

ベイタウン内の放射線量測定を実施!

ある読者の方から、ベイタウンニュースのメールアドレスに投書が届きました。「ずっと気になることがあり、他のパティオやマンションはどうしているのだろうか...とと思っていることがあります。それは、3月の震災以来の放射線対策のことです。ベイタウンニュースで記事してもらえないでしょうか?」というものでした。さっそく知人から放射線測定器を借り、ベイタウン内とその周辺を測定してみました。【板東】

測定場所と測定結果は、下の地図と表のとおり。この他にも、合計40箇所以上計測したが、数値に大きな変化がないのと誌面の都合で掲載はしなかった。結果を見ると、一部の特別な箇所を除き、ベイタウン全体では地上1mで毎時0.15マイクロシーベルト前後となっており、千葉市で発表している数値(7月15日版市政だよりでは、打瀬小で0.16)とほぼ近い値となった。毎時0.15マイクロシーベルトという値かと言え、市政だよりでは「文部科学省が福島県に示している校舎・校庭等の利用判断における暫定的な目安(毎時3.8マイクロシーベルト)および放射線量低減策に対して国が補助する場合の指標(毎時1マイクロシーベルト)を下回っている」



こういう道路脇がやや高目

とっており、専門家(千葉大学大学院久下教授)の意見として、「この結果を見る限り、子どもたちの外遊びを心配するほどではありません。」と記載している。なお、自治体によっては、除染の独自基準を設けており、例えば朝日新聞9月11日版(朝刊)の千葉面によれば、市原市では毎時0.26マイクロシーベルト、いすみ市では毎時0.25マイクロシーベルトといった基準を設けて運用している所もあるので、国の指標にあぐらをかいていて良いのかという疑問はある。

また、この環境下に24時間365日さらされたとして換算した場合、年間1.314ミリシーベルトとなる。これは、小学校などの校庭利用で文部科学省が採用した放射線の年間被曝(ひばく)量20ミリシーベルトを下回っている。ただし、平時の千葉市近郊の自然放射線は年間0.85ミリシーベルト程度であるので、やはり「平時」とは言えない水準だ。測定値の扱いは専門家や行政でも議論が分かれる所であるが、少なくとも下表の#2や#3で示したように、植栽や道路の側溝などで、雨水や汚泥が流れ込み、溜まるような場所では放射性物質が「凝縮」され、比較的高い数値となって



今回測定に使用した機器

いるため、注意が必要だ

私の住む1番街でも同様に側溝や駐車場屋上の排水口などでやや高目の数値が出たため、管理会社の許諾を得た上で、清掃員の方々にゴミや汚泥が溜まらないように特に注意して清掃頂いている。

【測定結果】

番号	場所	地表	1m
1	打瀬小学校校庭	0.19	0.15
	打瀬1丁目公園水飲み場	0.29	0.16
2	1番街植え込み	0.60	0.23
	1番街前路上(側溝)	0.56	0.19
3	10番街植え込み	0.35	0.17
4	ベイタウン・コア入口	0.14	0.17
5	北東角信号	0.05	0.14
6	花見川沿い堤防	0.22	0.15
7	ミラリオ・エントランス	0.20	0.16
8	南東角信号	0.12	0.18
9	打瀬中学校校庭	0.09	0.10
10	美浜打瀬小学校校庭	0.14	0.16
11	みらい保育園入口	0.11	0.07
12	3丁目公園テニスコート前	0.16	0.16
13	海浜打瀬小学校校庭	0.08	0.12
14	第3公園中央	0.11	0.12
15	南西角信号	0.12	0.13
16	グランパティオス通路	0.16	0.12
17	2丁目公園・第2公園間	0.18	0.12
18	リンコス前	0.13	0.12
19	幕張海浜公園芝生中央	0.16	0.13
20	海浜幕張駅南口	0.17	0.05
21	マリスタジアム前	0.13	0.19
22	幕張メッセ入口	0.24	0.19
番外	大森駅前	—	0.10
	甲府駅前	—	0.09
	博多駅前	—	0.08
	羽田~福岡機内	—	1.85

【測定条件(番外を除く)】

- ・ 2011/9/4(日) 10:00~15:30 曇後晴(南東の風、風速7~9m)
- ・ 使用機器は、SOEKS-01(ロシア製)
- ・ 複数回計測して特異値を除外した平均値

【注意事項】

- ・ 1番街近辺が数値が高いように見えるかも知れませんが、たまたま1番街近辺でそのような場所で測定したため、他の場所でも同じような箇所(植え込み、側溝)を測定すれば、同様の数値が測定されたものと思われる。
- ・ 機器の誤差を補正(コバルト60対象をセシウム137に補正)するために、実測値に補正值(0.772)を乗じています。
- ・ β線を除外するためのアルミ板等での遮蔽措置をしていないので、特にβ線の影響を受けやすい地表での数値はあくまで参考値として捉えて下さい。

(2面につづく)



(1面から続く) 投書を頂いた方およびそのお知り合い2人に、今回の測定結果を見ての感想やご意見を伺いました。

集まって頂いたのは、まだ小さいお子さんを持つ、3人のお母さん。日頃から、放射線の影響が気になり、気を使っている敏感派のお二人と、自分を含めた家族の生命力を信じてそれほど気を使わないおおらか派（とは言っても、正しい知識を得るために、セミナー等には参加している）のお一人と、放射線に対する敏感さではバランスが取れた組み合わせだった。

そもそも投書のきっかけは、自分の住む番街の管理組合に放射線測定器の購入と住民による清掃を要望したところ、「①放射線測定器の選定・購入が難しい、②専門家ではないため放射線に対する判断・運用が難しく、逆に住民に混乱と迷惑をかける危険がある」という理由で拒否されたことから。では、他の番街ではどうだろう？と独自のネットワークで8つの番街について調べたが、やはり測定している所はなかったとのこと。確かに、番街個々には測定器は購入しにくいだろうし、機種によっても差異が大きいのので、測定を正しく行い、値についても前提を明確にして公表しないと、いらぬ混乱を招くだけなので注意が必要だ。ベイトウン自治会連合会等で測定器を購入して、測定方法も標準化して貸し出しを行ってくれると良いのだが…。

今回の測定結果に対する率直な感想を聞いたところ、「自分たちの住む街で、大気中の値はそれほど心配な値でなかったのは良かったけれど、やはり高い値が出た危険な所を放置しておくのは嫌。市原市やいすみ市のように、独自基準で除染してくれている所もある。千葉市がやってくれないなら、自分たちでも何とかしたいと思う。」「環境中の放射線だけでなく、食品に含まれる放射性物質も心配。今すぐ影響のない値だと言われても、子どもたちに10年後に影響が出たら、誰が保障してくれるのか？保育園

や学校の人間も、個人としては心情は理解してくれるが、団体としては決断してくれない。誰も決断せず、突き放された感じがする。風評被害の心配もあるけれど、最後は自分たちが判断するので、判断する材料として値を具体的に示して流通させて欲しい。」「我が家では、大人は産地応援のつもりで積極的に被災地のものを食べ、子どもたちには心配のないものを食べさせていた。ややマスコミに踊らされていたかも。」「千葉市の新港清掃工場で焼却灰からキロ当たり12,950ベクレルという基準値を超えるセシウムが検出され、溶融炉が停止されたという記事を見たけれど、その後どうなっているのか？今も出続けているのか？さらには、今も福島原発からは放射性物質が出続けているのに、何故騒がれないのか？今回の事件で、マスコミにも大きな不信感を持ってしまった。」といった意見だった。

敏感派のうちのお一人は、放射線被曝による直接的な影響だけでなく、それを心配する余りに個人で何とかしようとする負担が大きく、まあいいやと思う気持ちと、不安と無力感の気持ちの波ができてしまい、それが子どもの心や身体の生育に影響しないかと葛藤を抱えられていた。子供を持たない自分は頓着していなかったが、ベイトウン中、日本中の母親・父親がそんな気持ちを持たされているとは、何と罪作りな国だと身につまされる思いがした。

皆さん、今回の原発事故が発生した後、公園に行く回数や時間は格段に減ったという。事故後はしばらく中部地方の実家に子どもを避難させたという方もいた。絶対的安全を手に入れることはもはや不可能な話かも知れないが、そんなお父さん・お母さんの不安をひとつでも減らせるように、国や自治体には動いて欲しいし、私たちも草の根でできることはやって行くべきだと思う。

10月のコア・イベント

10月15日(土) わくわくお話し会 10月の常設お話し会

10月の常設お話し会

時間: 10:30~ 場所: ベイトウン・コア 講習室 (途中入場もできます)

10月もわくわくするおはなしゲームを用意してお待ちしています。年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひ来てね! 予約は不要です。* 読み手も募集中、見学歓迎 *

お問合せ先: 井上 (211-0188 wak2@yahoo.com)

ブログ更新中・見てね** <http://waku.makusta.jp/>

10月15日(土) 公民館講座

初めての方のための「プリザーブドフラワー教室」

時間: 午後1:00~3:00 費用: 材料費2,000円

対象: 女性 定員: 20名

用意するもの: 花きりばさみ、ペンチ、ぞうきん、持ち帰り用ビニール袋

申し込み: 10/2 から費用持参で打瀬公民館まで TEL: 043-296-5100

10月22日(土) 寺子屋工作ランド

内容はコアアトリウムに展示してあります

時間: 9:30~11:30 場所: ベイトウン・コア 工芸室

持ってくるもの: 小刀、セロテープ 参加費: 50円 (保険料)

10月23日(日) ファツィオリの会 (コア文化振興基金後援事業)

第99回ファツィオリの会

時間: 9:30~11:30 場所: ベイトウン・コア 音楽ホール

休日のひと時を、イタリアのフルコンサートピアノを囲んで楽しむ会です。ピアノ以外の楽器演奏や声楽でもご参加いただけます。非公開でもご利用いただけますので、お気軽にお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

最新のプログラムは <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧下さい
申込締切: 10月15日(土)、連絡先: kaorutom@kjb.biglobe.ne.jp (富田)

訂正

9月号1面「中学生サポーターも登場」の記事で中学1年生の名前を「小畑」君としましたが、正しくは「小幡」君の誤りでした。謹んで訂正します。

歩道橋の名前は「シーサイドデッキ」に決定

本紙8月号で一般公募した「海浜大通り横断歩道橋」の名前を選ぶ選考会が9月12日、夜7:00からコア講習室で開催され、デッキの名前が「シーサイドデッキ」と決定されました。応募総数は258票でした。

選考はまずみなさんから応募いただいた258案から3人以上の方から同じ名前応募された名前を抽出する形で行われました。この時点で残った名前の案は8つでした。この中から自治会連合会ほかベイトウンの公的7団体の会長がそれぞれ1票を投票して決定するという方法で行われました。

最初の投票で残ったのは「ベイトウンブリッジ」と「シーサイドデッキ」の2案。2度目の投票でシーサイドデッキが過半数の5票を集め、この名称を市民案として企業庁に提出することに決まりました。

シーサイドデッキの名前で応募された4人の方には、選考会を主催した自治会連合会から商店会商品券を粗品として進呈し、来年3月予定の開通式に招待するとのことでした。



投票用紙を前にする選定委員。写真左端が主催した自治会連合会会長の遠山さん。

音魂祭りレポート（3） ～本格的な練習が始まる

期末試験が終わった翌週の9月14日。この日は委員会の取材で放課後の打瀬中学校に向かう。会議の開かれる新築のプレハブ校舎（2年生用）に入ると、あちこちから歌声が聞こえてきた。廊下を歩くと左右の教室では指揮者が黒板前に置かれた椅子の上に立ち、他の生徒たちはCDの模範演奏に合わせて歌っている。いよいよ音魂祭の合唱練習が本格的にはじまったようだ。

各クラスの練習は音楽の時間と放課後前の学級活動（昔の呼び名ではホームルームの時間か）の時間が中心だが、その他に朝練、昼休み、放課後にも自主練習が行われる。つまりこの時期、打瀬中学校では授業開始前から放課後まで、授業中でない時間帯は学校中から歌声が聞こえて来ることになる。【松村守康】

文中で紹介した1-1（アイ）の練習風景。2階の会議室のようなスペースで奥に電子ピアノが見える。



9月16日（金） 3-F組（音楽室使用）

この日は取材したいクラスの練習が放課後にいくつか重なっていて、放課後の時間帯が始まる3:25より前に学校についた。取材予定の3-F組の練習を見ようと音楽室まで急ぐと、途中通った視聴覚室からは3年生の共通課題曲「大地讃頌」（だいちさんしょう）が聞こえてくる。急がなければと思ったが着いてみると目的の音楽室では人は集まっていたが、まだ練習は始まっていない。

クラス担任の先生が「もう10分も過ぎたぞ」と声をかけやっと練習が始まる。最初は「大地讃頌」からだ。女声に比べて男声のボリュームが弱く、見ている口が開いていない。入りを間違える子もいて、どうも練習がまだよくできていないようだった。結局この曲は1度歌っただけで、すぐに自由曲の練習に移る。ところが自由曲になるととたんに元気が出て、全員が積極的に歌い始めた。さっきの大地讃頌とは雲泥の差だ。クラスのノリもいいし男子も大きな声で歌っている、どうやら3-Fは好きな自由曲をメインに練習してきたようだ。



練習が終わって、これから帰りの会に向かうという実行委員の長野君とパートリーダーの坂巻君に話を聞かせてもらった。

— 大地讃頌の出来は他のクラスに比べて遅いようだけど、大丈夫？

長野君：僕たちのクラスはスタートが他のクラスより遅かったので、全体にまだレベルが低いと思います。最初はみんながあまりやすいので好きな自由曲の方から力を入れて練習を始めました。まだ1ヶ月以上あるのでこれから巻き返します。

— 2人とも実行委員やパートリーダーは立候補して選ばれたの？

長野、坂巻：そうです。どこのクラスもだいたい立候補してやりたい人、熱心な人が中心になっています。

— 毎日どのくらいクラスで練習するの？

長野、坂巻：クラスで時間があれば、すぐに練習するようにしています。例えば今日は朝の授業開始前に朝練をし、昼休みにも教室でやりました。放課後は音楽室が借りられていたので、放課後前の学活の時間に音楽室に移動して練習をはじめました。その他にも休み時間にも教室で練習することもあります。

— 目標はやっぱり「優勝」？

長野、坂巻：そうです。音魂祭は3年生にとってクラスがひとつになって盛り上がる最後のイベントなので、1、2年生のときに比べると3年生の音魂祭は特別です。F組のスローガンは「一声入魂」。これから巻き返して頑張ります。



取材に応じてくれた坂巻君（写真左）と長野君。坂巻君にはどこかで会ったような気がするけれど思い出せない。聞いてみると「小学校6年生の時にラジオ体操リーダーをやったので、そのときに会いました」との答え。なるほど、そうだったのか。今はもう惚れ惚れするようなナイスガイになっているので分らなかった。ふたりとも応援してるからがんばれ。

9月16日（金） 1-I組（共通大使用）

3-F取材のあと2階の1年I（アイ）組の練習へと向かう。こちらは「共通大」という大きな会議室のような教室で電子ピアノが設置されていた。

1年生はさっきまで見ていた3年生に比べるとやはりボリュームが落ちる。顔を見るとみんな真剣に歌っていて、熱意も十分だが、まだ声が出ていないようだ。男子にとって大きく口を開けて歌を歌うというの

は相当勇気がある。1年生にとってはまずこれが本物の中学生になるための大きな壁のようだ。しかし今はまだ練習がはじまって5日目だ、練習を重ねて恥ずかしがらずに大きな声で歌えるようになったとき、1年生が頼もしい中学生に変身する。これも楽しみだ。

音魂祭こぼれ話

記事の中で何度も出てくる3年生の共通課題曲「大地讃頌」（だいちさんしょう）は中学校合唱では全国でも定番の曲だ。父兄の中でも中学時代に歌ったことのある人は多いだろう。よく知られている曲だけに難しい。1、2年生は男子が低い声が出ないため混声3部の曲になることが多いのに比べ、3年生の曲はこの曲も含め本格的な混声4部合唱。我が子の低いバスの声にうっとりするお母さんも多いことだろう。

これまでピアノのあるスペースで練習しているクラスを取材してきたが、学校内でピアノがあるのは音楽室や多目的室など限られている。これらの場所は事前にクラスごとに使用日時が決まっているので、通常の教室の練習には持ち運びできるキーボードを使う。キーボードは3階の音楽室から各クラスの実行委員がその都度事前登録制で借り出し、終われば返却することになっている。これも実行委員の仕事だ。1日に何度も練習する日がつづくことこれらの管理/運搬は大変な作業になる。実行委員の仕事は大変だ。



優勝を狙って先行(?)する3-Bの練習のひとつコマ。休憩中に実行委員の志村君を中心に座り込み、意見を出し合っただけのところを直していく。

打瀬中学校 ～部活動の中心は2年生へ

夏休み直前から始まる「夏の総合体育大会」は3年生の引退試合。この総体は夏休みの間に終わり、9月から部活動の中心は2年生へと移りました。引退していくサッカー部の3年生を取材しました。

【21番街 北村直子】



9月10日(土)、エリストのホールで、3年生とその保護者が企画するサッカー部伝統の「卒部会」が催されました。1、2、3年生52名が集合。昼食の後は、ビンゴ大会、腕相撲大会で大いに盛り上がりました。最後に3年生が一人ずつ、1、2年生にエールを送りました。

3年前、入学当時の入部者は9人だけ。グラウンドの隅っこで小さくなって練習していました。当時の3年生は県大会に出場。2年生もベスト4、とサッカー部は強いチームでした。人数の少ない1年生は、部活の準備や後片付けをみんなで協力。助け合っ

ていく中で連帯感が生まれ、和気あいあいとした雰囲気が出来上がりました。2年生になると、入部してくれた新1年生が試合に参加。勝ち進めるようになりました。途中入部者もあり、3年生になるとメンバーは13人、チームとしてもまとまりました。総体ではもう少し勝ち進みたかったところで、惜しくも敗退。果たせなかった「県大会出場」の目標を2年生に託して引退となりました。1、2年生に送る言葉の中にも「勝ってほしい」という言葉が多く、2年生は気持ちをしっかり受け継いでくれたと思います。

昨年卒部していった現在高校生の先輩たち、今年は、総体が始まる前日、打瀬カラーの青いリストバンドを届けてくれました。試合当日に差し入れの塩飴を持って先輩たちが応援に駆け付けてくれた日は、強豪チームに勝つことができました。

卒部会の手伝いをしていた保護者に、3年間の様子を聞きました。学校の忘れ物はあっても、サッカー部のためのソックスやスパイクは毎朝チェックして登校。何も無い休日はいつまでも寝て、だらだらしているのに、サッカー部のある日は早起きして出発。9月からクラブ活動がなくなり、早い時間に帰宅して「サッカーしたいな」とボソっとつぶやいている。保護者にとっても、試合の応援が無くなったことが寂しい。サッカー部は保護者も協力的で仲が良い、こちらも代々受け継がれています。

引退していく3年生の試合はいつもアウェイでした。新校舎と第二グラウンドの工事のため、打瀬中学校のグラウンドでは試合ができず、サッカー部はいつもほかの学校に向いて試合をしていました。

現在、工事はようやく一段落。2年生たちはホームで試合ができるようになりました。これからは、2年生が中心となり、まとまりある強いクラブを作り上げていくことでしょう。

コア・フェスタに「スタンプ・ラリー」登場

本紙8月号でもお伝えした、「第2回コア・フェスタ」が11/19(土)、11/20(日)の2日間にわたってベイトウン・コアで開かれます。今年のフェスタには「スタンプ・ラリー」が登場。各サークルのコンサートや発表会、展示会を見て押しってもらうスタンプを集めればすてきな景品をさしあげます。

コア・フェスタは打瀬公民館で活動するサークルのみなさんが協力して開催する「コアまつり」です。サークル活動の発表やフリーマーケット、模擬店が出店します。昨年の第一回フェスタにつづき街のみなさんの来場をお待ちします。

コア・ホールのイベント (11/19、20日)

【11/19(土)】

ベイトウン音楽愛好会

打瀬詩吟会

幕張総合高校

ラモー千葉管楽アンサンブル

フェアリーズ

ベイトウンフルートアンサンブル

瀬音・GAFU

コアチェンバーシンガーズ

【11/20(日)】

幕張インターナショナルスクール チアダンス Dolphins

千葉ソログターサークル

打瀬ウクレレサークル

ハワイの歌

打瀬中学校吹奏楽部

ベイトウンオーケストラ

ダンスキッズ・レディススケッチ

3B体操

をどり組

太極拳

サークル展示会 (11/19、20日)

つくしの会 (パネル5枚)

写真クラブ (パネル7枚)

すみれ会 (パネル2枚)

水彩画 (廊下壁面、例月の展示場所を写真クラブと交代)

体験教室・ワークショップ (11/19、20日)

3B体操、をどり組、太極拳 (20日)

わくわくお話し会 (工芸室、19日午前)

写真クラブ (工芸室、19日午後)

お茶 (和室、19日午前、午後)

子ども将棋大会 (工芸室、20日午後)

寺子屋工作ランド (工芸室、20日午後)

フリーマーケット、模擬店 (11/19、20日)

フリーマーケット (19、20日 午前午後、1日20組)

コーヒーコーナー、焼き芋、カレー、その他

フリーマーケット出店申し込み、お茶会の参加チケットは本紙11月号で詳細をお知らせし、11/5(土)より申し込みを受け付けます。

第2回コア・フェスタ出場者募集

コア・フェスタで、ベイトウン音楽愛好会は19日(土)10:00～12:00 コア・ホールを使わせていただきます。ピアノやヴァイオリン他の楽器演奏、声楽などソロでもアンサンブルでもご出場ご希望者は大垣 (279-3878 メールアドレス ymogaki@k4.dion.ne.jp) まで、曲名・演奏時間を添えてご連絡ください。締め切り日は10/20(木)ですが、いっぱいになり次第締め切らせていただきます。出場は無料です。

第19回ベイトウン音楽会「ウインターコンサート」出場者募集

ベイトウン・コア恒例の12月クリスマスシーズンのコンサート出場者を募集いたしています。

日時: 12月18日(日) 11:00～17:00

場所: ベイトウン・コア音楽ホール

内容: ピアノ・ヴァイオリン他の楽器、声楽・合唱などソロでもアンサンブルでも

申し込み先: 阿曾 TEL/FAX 211-0273

メールアドレス kakuhito@mue.biglobe.ne.jp

申し込み受付期間: 10/1(土)～10/31(月)ですが、いっぱいになり次第締め切らせていただきます。